

編集： 山田浩司 & 美澄

Address: 2208 North Quantico Street, Arlington, VA, 22205, USA

Phone: 1-703-241-0621 E-Mail: mickeyy@pc4.so-net.ne.jp URL: <http://www.sanchai.net/>

お世話になりました。家族だけ一足先に帰国します。



8月22日約2年8ヶ月に及ぶアメリカ生活が終り日本に帰国します。浩司さんを残して予定よりも早い帰国ですが、出産を控え、子供達の幼稚園のことを考えるとこの時期に帰るのが一番良いようです。

思えばあっという間の2年8ヶ月、色々ありました。一番印象深かったのが2001年9月11日の同時多発テロです。あれ以来アメリカが戦争に向かってまっしぐらになってしまい、テロの恐怖や、炭疽菌の心配、連続狙撃事件などもあり、落ち着かないこともありました。でも、家族全員が大きな事故や病気も（私が一回車で事故をしましたが）なく無事に帰国を迎えることができることを心から感謝いたします。友人や住環境にも恵まれ、楽しく過ごすことができました。

アメリカに来た時には3歳半と1歳半の子供達が6歳と4歳になり随分と成長しました。特に千智はまだ赤ちゃんだったのが、今では歌ったり踊ったりよくおどけています。樹生も去年の9月に幼稚園が始まってから、幼稚園でも勉強しているせいか英語が随分話せるようになりました。友達もできたし、ここで過ごしたことははっきりと記憶には残らなくても、貴重な経験となり今後の人生に少なからず影響を与えることと思います。また、私自身もマッサージセラピストの勉強をし、資格を取ったことは貴重な経験でした。妊娠で中断していますが、子育てをしながら細く長く続けていきたいと思っています。

帰ったら樹生と千智は新しい幼稚園に通います。実家のそばの幼稚園です。環境の違いに戸惑わず友達もできるといいのですが、どうなりますでしょうか？私も無事第3子を出産したいと思います。今回の出産は実家にいられるし、上の子供達も成長しているので楽なのでしょうが、私の年齢が上がっているため体力的にはちょっと心配です。どうか無事に出産できますように。

日本に戻りましたらまたよろしく願いいたします。

(美澄)

帰国前の駆け込み観光（2）

アリゾナ・グレートウエスタン編



家族の本帰国が間近に迫っているというのに、私達は悠長にも11日間の家族旅行に出かけた。8月3日から13日まで、行き先はアリゾナ州だ。

「カナダに行きたい」と言い続けていた美澄ママと私は、7月上旬頃まではカナダのノバスコシアをドライブ旅行する方針でいたのだが、ノバスコシア情報を収集するためにママが訪れた全米自動車協会（AAA）の事務所で、たまたま「グランドキャニオン鉄道によるグランドキャニオン観光2泊3日パッケージ」というのに目を奪われ、子供のアトラクションのないノバスコシアから、少なくとも蒸気機関車に乗ってグランドキャニオンに行けるアリゾナへと約120度の方針転換をしてしまったのだ。

ここからの旅行計画作りは私の役目で、かつて学生時代に3回もアリゾナ州を通過したことで培った土地勘を武器に、アリゾナ大隕石孔（バリンジャー隕石孔）、ローウェル天文台、モニュメントバレー、セドナ、ヴェルデキャニオン鉄道、ツーソン砂漠博物館等を組み合わせ、アリゾナをとことん楽しむ日程を作り上げた。実際に行ってみてさらにキャニオン・デ・シェイやナバホ・インディアン居住区、ツーソン郊外のバイオスフィア2等を追加で訪ねた。旅の詳細はサンチャイ・ドット・ネット (<http://www.sanchai.net>) の「パパの趣味の世界・ビール編」をご覧ください。（なぜ「ビール編」かというと、今回は徹底的にアリゾナ地ビールを飲むというテーマを個人的に抱いていたからです。）

私にとっては、特に、2年前のラスベガス昇段審査の際に滞在中樹生の発熱により断念せざるを得なかったモニュメントバレー訪問をようやく実現させたことが最大の思い出だった。モニュメントバレー周辺のナバホ・インディアン居住区は、これが本当にアメリカかと信じられないくらい貧しい地域で、貧富格差が過去最大に広がっている今のアメリカの危うさを痛感させられた。もう1つ、私にとって嬉しかった出来事は、ツーソン滞在中に地元のチームとロサンゼルス・ドジャースの3Aラスベガスの野球公式戦を観戦した際、ラスベガス側のブルペンにいた木田優夫投手（元読売ジャイアンツのドラフト1位）に会えたことだ。残念ながらその日は登板機会がなかったが、木田投手は8月13日に念願のメジャー昇格を果たし、野茂や石井に合流したのだった。

ママにとっては、期せずしてマッサージセラピーやヒーリングのメッカ、エネルギーが収束するスポットでUF0がよく目撃されると言われているセドナを訪問体験することができたことが最大の収穫だったという。今回の旅の期間中、セドナだけは滞在型のリゾートホテルに宿泊した。グランドキャニオンやモニュメントバレーほどではないにせよ、セドナも四方を奇岩やテーブル状の台地に囲まれた独特の景色を楽しめる観光地であり、ホテルのテラスからそうした奇岩群が一望できる。元々インディアン居住区ぐらいには関心があったらしいが、セドナには一目惚れに近いほど惹かれたようである。このクソ暑い夏の盛りにアメリカで最も暑いアリゾナにやって来て、しかもインディアン居住区のあまりの貧しさに落ち込んでもいたママであったが、セドナに滞在して以後は、「また来てもいいな」と口にするようになった。

子供達には、将来学校の教科書でお目にかかるかもしれない大隕石孔や大渓谷、天体望遠鏡等を記憶して欲しかったし、滞米生活最後にして最大の列車ツアー「グランドキャニオン鉄道」と「ヴェルデキャニオン鉄道」に乗車したことを「楽しかった思い出」と言って欲しかった。そんな親心とは裏腹に、樹生の答えは「ホテルのプールで毎日泳げたこと」なのだそうだ。毎日の運転に加えて、ホテルに戻れば子供達の水遊びに付き合わされる親父は大変だったのだが、自分の背丈よりも深いところでパパの監

視の下で泳げたことが強く印象に残ったらしい。千智は未だ顔を水に付けるところまでは到達していないが、それでもプールの浅めのところでバチャバチャやっているだけでも楽しかったようだ。水遊びが最大の思い出になってしまうんじゃ、アリゾナじゃなくて自宅近辺でも毎日プールで泳がせていればそれなりに楽しかったのではないかと思うと少しガックリくる。

2001年4月のクリーブランドは出発直前に、7月のラスベガスは到着2日目に、2002年8月のフロリダでは旅行日程終了3日前に、樹生は体調を崩し、旅を計画通り終えることができなかった。その意味では、今回のような長期の旅行で樹生が全く体調を崩さなかったことは大きな収穫だと思う。楽しい思い出をいっぱい背負って、家族全員が元気でアーリントンに帰って来ることができた。これで家族は帰国に向かってまっしぐらだ。
(浩司)

売れる家具、売れない家具の大処分

7月も後半に入り、家族の出発を8月22日に決めて航空券を手配したあたりから、帰国の準備はスピードアップさせた。先ずリビングルームのかいソファセットと円形のダイニングテーブルを世銀の売買掲示板に貼り出した。ダイニングテーブルはすぐに売れたが、ソファセットの方は、引き合いはあったのだが買い手が見つからなかった。同じ時期にワシントンの日本人ウェブコミュニティにも掲示したけれども、こちら照会もあったけれども取引成立にまで至らなかった。

第2弾は、ソファセットにもう1つの長方形ダイニングテーブルと二段ベッド、家族出発以降不要になりそうな大物を含めて一覧表を作り、アリゾナ旅行出発直前に、ワシントン界隈に3軒ある日本食材店に張り出した。旅行から戻ってすぐに引き合いを一件一件確認して、徐々にスリムダウンを図っているところである。大物3点については8月16日時点で未だ買い手が見つからない。どうしても買い手が見つからなければ、アーリントン郡のNPOに寄附することになっている。このNPOは、寄附された家具を中古市場で転売し、売上金を活動資金に充当しているのだ。

自動車については、通勤用に使っていたトヨタのクーペは「カーマックス」というディーラーで売り払う手続を取っている。先ず一度車を持って行って見積もりを出してもらい。一週間以内にそれよりもっと良い条件で買ってくれそうな他の買い手を探して見つからなければ、もう一度「カーマックス」に持ち込んでその場で売却成立だ。ミニバンの方は、千智の託児センターの先生が関心表明をされているが、私も暫くは使いたいので、引渡しは10月上旬だろう。

家族が当地を離れて以降、徐々に生活用品のスリムダウンもさらに加速させることになるだろう。ものが豊富にないネパールの時と違い、今回の私の後任は独身者で、こちらにはものが豊富にあるので、後任への引継は今回はあまり行なわないつもりである。全て自分で処分しなければいけないので、これから結構大変だ。
(浩司)

やるぞ！剣道ダイエット

こここのところ数ヶ月、パパの体重計の数字が減っていないことにお気付きの読者も多いことだろう。正直言って、やっぱり走れないのです。というか、オフィスアワーに1時間だけ中抜けして走るというのは、その分遅くまで仕事して帰宅が遅れると家族にも悪いという「言い訳」の気持ちが強く働かし、何よりも、自分がこの時間帯だったら走ってもよいと思っている夕方の時間帯は、他の職員も同じようなことを考えているので、ジムでトレッドミルを1時間も占領するというわけにもいかない。

パパの体重

86 kg

(8月19日現在)

その一方で、この暑い季節、剣道の練習を2時間やれば相当にエネルギーを消耗できる。家族への配慮もあって、剣道の練習は週1回に抑えている。しかも、今は夏休み期間中でオークトン小学校の体育

館が使えないため、私が会員になっている和心館オークトンクラブはお休みで、ノーザンバージニア武道会の金曜日の練習にだけゲスト参加している状態だ。この状態は9月に入れば解消される。ノーザンバージニア武道会が火・木、ジョージワシントン大学が月・土、和心館オークトンが金、和心館ロックビルが水で、ワシントン界限では、日曜日と木曜日を除けば剣道の練習にどこかで参加することが可能だ。家族が帰国する8月22日以降、暫くは集中的に剣道に打ち込みたいと思っている。次号サンチャイ通信で、剣道ダイエットのその後についてレポートしたいと思う。

今から宣言しておくが、私は帰国後にあと1年練習を続ければ四段受験が可能になるので、新居を探す際も、道場が近くにあるかどうかをすぐにチェックしたいと思っている。最近になって、仕事上普段仲良くさせていただいているIMFのIさんと世銀のTさんが、6月の志道学院剣道トーナメント観戦に感銘を受け、それぞれオークトンとロックビルに参加されるようになった。お二人ともあと半年もすれば帰国の予定であり、ここで始めても日本に帰った後どう続けるかが問題となってくる。先に帰国したら道場を見つけてお待ち申し上げたいと思っている。(浩司)

編集後記～山田家短信

- 7月の始め頃から、樹生の前歯の乳歯が1本ぐらつき始めていたのですが、それがアリゾナ旅行中によりやく取れました。乳歯生え変わりの第1号です。私が小さい頃、ぐらぐらした歯をいじって自分で引っっこ抜くような荒業をやったことがあるので、樹生も気になるなら無理無理引っ張ったらよいと無責任にコメントしていましたが、初めての乳歯なのでどれくらい痛みを我慢すれば取れるのか感覚としてわからなかったようです。パパは虫歯のオンパレードでしたが、樹生も千智も、ママの指導による朝夕の歯磨き励行のお陰で、ここまで虫歯ゼロで来ています。この調子で、これからもなるべく虫歯を作らないよう歯磨きを続けて欲しいと思います。(山田)
- 7ヶ月目に入り、お腹も大きくなり車の生活で運動不足のせいか、疲れやすく引越し準備が思うように進みません。浩司さんに最終的にはお願いすれば大丈夫という安心感のせいかもしれません、かなりやり残して帰ることになりそうです。最後の2ヶ月は忙しくなり大変なのに本当に御免なさい。日本でお待ちしております。無事に帰って来て下さい。(美澄)
- 最後のアリゾナ家族旅行、ワシントン周辺とは全く違った風景を見ることができて楽しかったです。私のお薦めはセドナというモニュメントバレーのような岩に緑の溪谷が一緒になったような景色が楽しめる場所です。ここは鉄道に乗るために偶然宿泊することになったのですが、「気」が集まるので有名なところで精神世界に関連する本やグッズのお店がありったり、マッサージセラピストも沢山いるような場所でした。リゾート地なのでホテルも過ごしやすかったし、プールについているスパに入ると露天風呂に入っている気分でした。空気も美味しかったし、もう1泊したいと思った場所でした。是非機会があったら行ってみて下さい。(美澄)

一足先に帰国する美澄ママ、樹生、千智の国内連絡先は次の通りです。

181-0011 東京都三鷹市井口1-13-46 鴨下喜代澄様方

電話&FAX: 0422-31-7510

E-mail: chichi0510@hotmail.com

(mickeyy@pc4.so-net.ne.jpに送っていただいたメールは浩司の方で転送します。)